

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-014409

(43)Date of publication of application : 19.01.2001

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

(21)Application number : 11-181060

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 28.06.1999

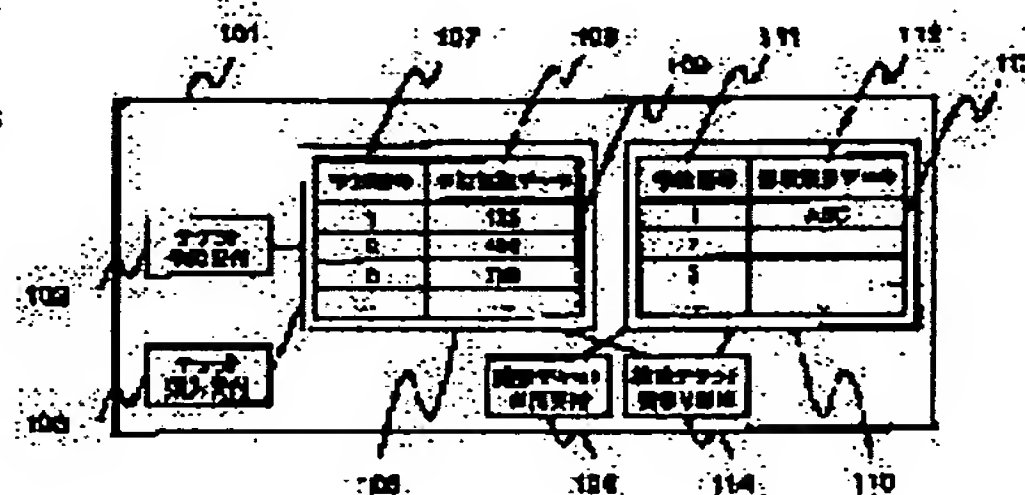
(72)Inventor :  
OSAKI NOBUYUKI  
KAWANO TAKASHI  
KAGAMI AKIRA  
TASHIRO TSUTOMU  
NOYAMA HIDEO

## (54) TICKET SALES INFORMATION MANAGING METHOD

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To transfer a ticket without necessitating a labor and time for becoming a member in advance by using reservation authentication data and transfer authentication data.

**SOLUTION:** When a consumer A desires to transfer a reserved ticket to a consumer B, the consumer A applies for the transfer of the ticket to a transferring ticket application receiving means 104. When the means 104 authenticates the correctness of the reservation based on the reservation number 107 and reservation authentication data 108 of a table 106, the means 104 correlates reservation number 111 and transfers authentication data 112 to store it in the table 110 to delete writing in the table 106. Next, the consumer B informs a transferring ticket reception receiving means 114 of the number 111 and the data 112 reported from the consumer A. After the table 110 authenticated the consumer B to be a right person to be transferred from the number 111 and the data 112, the means 114 correlate the number 107 with the data 108 and register them in the table 106. Thus, the consumer B obtains this reserving right.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

Best Available Copy

Best Available Copy



関連付けられて格納されていることを確認し、消費者Aに対して購入の権利を与えることになる。

【0026】チケット購入の権利を与えられた消費者Aは、チケットの代金をチケット販売者に支払い、チケットを取得する。

【0027】消費者Aは、購入したチケットをコンサート会場への入場の際に、入場ゲート105に提示することにより、コンサート会場へ入場する権利を持つことを証明し、コンサート会場に入場することができる。

【0028】以上がチケット予約・購入・コンサート会場への入場の流れである。

【0029】次に、チケット予約履歴の流れを説明する、図1、図6は、それぞれチケット販売センタの計算機101の履歴チケットの申請処理と、履歴チケット受取り処理の流れを示し、説明には図3、図6も参照する。

【0030】消費者Aが既にチケットを予約しているとする。この時、消費者Aが消費者Bにこの予約を譲渡したい場合、次のプロセスにより予約の譲渡を行なう。

【0031】まず、消費者Aは通信手段(図2の201など)を用い、履歴チケット申請受付手段104に対してチケット譲渡を申し込む。履歴チケット申請受付手段104は消費者Aからのチケット譲渡要求を受け付ける。これは図5における301に相当する。

【0032】次にステップ302において、予約番号と予約認証データを元に、チケット予約を正しく行なっていることを認証する。

【0033】そしてステップ303において認証に成功した場合、ステップ304において予約番号と予約認証データを関連付けテール113に格納する。消費者Aが予約を譲渡した後、消費者Aの予約を無効にする場合には、この予約番号と予約認証データの付をテール106から削除する。テール113は、111の列に予約番号を、112の列に履歴認証データを関連つけて格納していることを示している。

【0034】履歴認証データは、消費者がチケット販売センタに対して申請する場合やチケット販売センタが生成し消費者に対して発行する場合が考えられる。

【0035】ステップ303において認証に失敗した場合、は、チケット予約履歴処理を終了する。

【0036】次に、消費者Bはチケット販売センタに通信手段(図2の202など)を用いて用いて履歴チケット受取り受付手段114に連絡し、消費者Aから連絡された予約番号と履歴認証データを通知する。履歴チケット受取り受付手段114は、消費者Bからの履歴チケット受取り要求を受け付ける。これは図6における501に相当する。

【0037】次に、ステップ602において、履歴チケット受取り受付手段114は、テール110を調べ、予約番号と履歴認証データが関連づけられているかを確認し、正しい履歴者であることを認証する。

【0038】ステップ603においてステップ602の認証に

成功した場合、ステップ604において履歴チケット受取り受付手段114はテール106に予約番号と消費者B用の予約認証データを関連付けて登録する。

【0039】消費者B用の予約認証データは、消費者Bがチケット販売センタに対して申請する場合やチケット販売センタが生成し消費者Bに対して発行する場合が考えられる。

【0040】ステップ603においてステップ602の認証に失敗した場合、履歴チケット受取り処理を終了する。

【0041】以上がチケット購入権利履歴の流れの説明である。

【0042】本方式を用いてチケットの譲渡を受けた消費者Bは、チケット予約・購入・コンサート会場への入場の流れの中で説明した方法によりチケットを購入しコンサート会場へ入場することができる。

【0043】なお、本実施の形態では、予約認証データ、履歴認証データのそれぞれと予約番号を論理的に区別して管理している。この目的は、消費者Aの予約の譲渡を受ける消費者Bを一意に特定するためであり、この目的が達成できれば予約番号を用いる必要はない。

【0044】以上のように、本実施の形態に従うと、予約認証データと履歴認証データを用いることにより、履歴チケットの申請及び履歴チケット受取りをそれぞれチケット予約者、履歴認証データを知る者のみに許可することが可能であり、予約したチケットを譲渡したい者が履歴認証データを教えた者にだけ譲渡可能な仕組みを実現可能である。さらに、譲渡される者は履歴認証データを知ってさえすれば譲渡を受けることが可能であり、事前に会員になっておく必要はない。つまり、履歴認証データを利用しない場合、事前に登録されている個人名や個人の番号を指定して譲渡する相手を指定する必要があるが、この場合事前に会員になっているものしか譲渡サービスを提供することができないのに対し、履歴認証データを用いることにより非会員に対しても譲渡サービスを提供することができる。そのため会員に限定せずに予約チケットの譲渡サービスを提供することが可能となる。

【0045】次に、本発明における図2の実施の形態に付いて、図3を用いて詳細に説明する。

【0046】第1の実施の形態では、チケットの予約を譲渡する方法に関するものであったが、本実施の形態では、購入済みのチケットを譲渡する方法に関するものである。本実施の形態でもある会場で行われるコンサートの入場チケットを例として扱う。

【0047】図3において、301は図2における203に相当するチケット販売センタの計算機である。308は図2における205に相当する入場ゲートである。302は、通信手段を用いた消費者のチケット購入依頼を受け付けるチケット購入受付手段である。

【0048】本実施の形態では、消費者がコンサート会

場へ入場する権利を持つことを証明する手段であるチケットとして、チケット販売センタ201内に格納された本人認証データをを用いる。つまり消費者はコンサート会場への入場ゲート205において本人認証データを提示することにより入場が許可される場合を考える。

【0049】本実施の形態におけるチケット購入・コンサート会場への入場の流れは次の様になる。

【0050】まず、消費者Aがチケット購入受付手段(図2における201など)を通じてチケットを購入すると、消費者Aをゲート308で認証する本人認証データがチケット購入受付手段302によりテール303に登録される。ここで、図3で消費者Aの本人認証データは306で示される"123"であるとする。消費者Aがゲート308を通過する時、消費者Aは本人認証データとして"123"を提示する。ゲート308はテール303に問い合わせ、本人認証データとして"123"が存在するか確認し、存在する場合消費者Aのゲート通過を許可する。

【0051】本人認証データは、消費者Aがチケット購入受付手段302に申請する場合やチケット購入受付手段302が消費者Aに対して発行する場合が考えられる。

【0052】本人認証データは、チケットを一意に特定するデータであるチケット番号と関連づけられて管理される。テール303は、チケット番号304と本人認証データ305が関連づけられていることを示している。

【0053】以下では、以上の前提の下で消費者Aが購入したチケットを、消費者Bに対して譲渡する方法について説明する。図1、図6は、それぞれチケット販売センタの計算機101の履歴チケットの申請処理と、履歴チケット受取り処理の流れを示し、説明には図1、図6も参照する。

【0054】今、消費者Aは既にチケットを購入し、本人認証データがテール303に格納されているものとする。この時、消費者Aは、通信手段を用いて履歴チケット申請受付手段301に連絡し、チケットの譲渡を要求する。履歴チケット申請受付手段301は消費者Aからの要求を受け付けるこれは図7のステップ701に相当する。

【0055】次にステップ702において、履歴チケット申請受付手段301は、消費者Aにより提示されるチケット番号と本人認証データがテール306で関連づけられているかどうかを確認するチケット購入の認証を行う。そしてステップ703において、ステップ702の認証に成功した場合、ステップ704においてこの本人認証データをテール306から削除し、テール313にチケット番号と履歴認証データを関連つけて格納する。ここで、チケット番号は、消費者Aが予約していたチケットを一意に指定できる番号である。また、履歴認証データとは、消費者Bが履歴チケット受取り受付手段301に対して履歴認証データとチケット番号を付で報告し、これらのデータを用いて履歴チケット受取り受付手段301が、消費者Bがチケット譲渡を受ける正当な者であることを認証するために

用いられるデータであり、チケット番号と関連つけて管理されなければならない。図3では、テール312中の110の列と311が関連つけて管理されていることが示されている。

【0056】履歴認証データは消費者Aが履歴チケット申請受付手段301に申請しても良いし、履歴チケット申請受付手段301が生成し消費者Aに発行しても良い。

【0057】ステップ703において、ステップ702の認証に失敗した場合は履歴チケット申請処理を終了する。

【0058】そして、消費者Aは消費者Bに履歴認証データを伝える。

【0059】消費者Aから履歴認証データを伝えられた消費者Bは、通信手段を用い履歴チケット受取り受付手段301に連絡しチケットの受取りを依頼する。この時、チケット番号および履歴認証データも履歴チケット受取り受付手段301に連絡する。ステップ701において履歴チケット受取り受付手段301は消費者Bからの履歴チケット受取り要求を受け付ける。

【0060】次にステップ702においてチケットの受取り依頼を受けた履歴チケット受取り受付手段301は、チケット番号と履歴認証番号が関連付けているかを確認する履歴認証を行う。チケット303において、ステップ702の認証に成功した場合、ステップ704において消費者Bの本人認証データをテール303に登録し、消費者Bが用いたチケット番号と履歴認証データの付をテール309から削除する。消費者Bがゲート308を通過する時は、消費者Bの本人認証データをゲート308で提示する。

【0061】チケット303において、ステップ702の認証に失敗した場合は履歴チケット受取り処理を終了する。

【0062】なお、本実施の形態では、本人認証データ、履歴認証データのそれぞれとチケット番号を論理的に区別して管理している。この目的は、消費者Aの購入したチケットの譲渡を受ける消費者Bを一意に特定するためである。

【0063】以上のように、消費者がコンサート会場へ入場する権利を持つことを証明する手段であるチケットとして、チケット販売センタ201内に格納された本人認証データを用いる場合には、本実施の形態のようにして購入済みのチケットを譲渡することが可能となる。

【0064】チケット販売センタ201内に格納された本人認証データと、コンサート会場の入場ゲートで提示される本人認証データを照合、検証することにより、チケット自身の譲渡が可能である。また、第1の実施の形態におけるチケット購入権利の譲渡を行なう機能と、本実施の形態におけるチケットの譲渡を行なう機能の両方を同一システムに持たせる事も可能である。

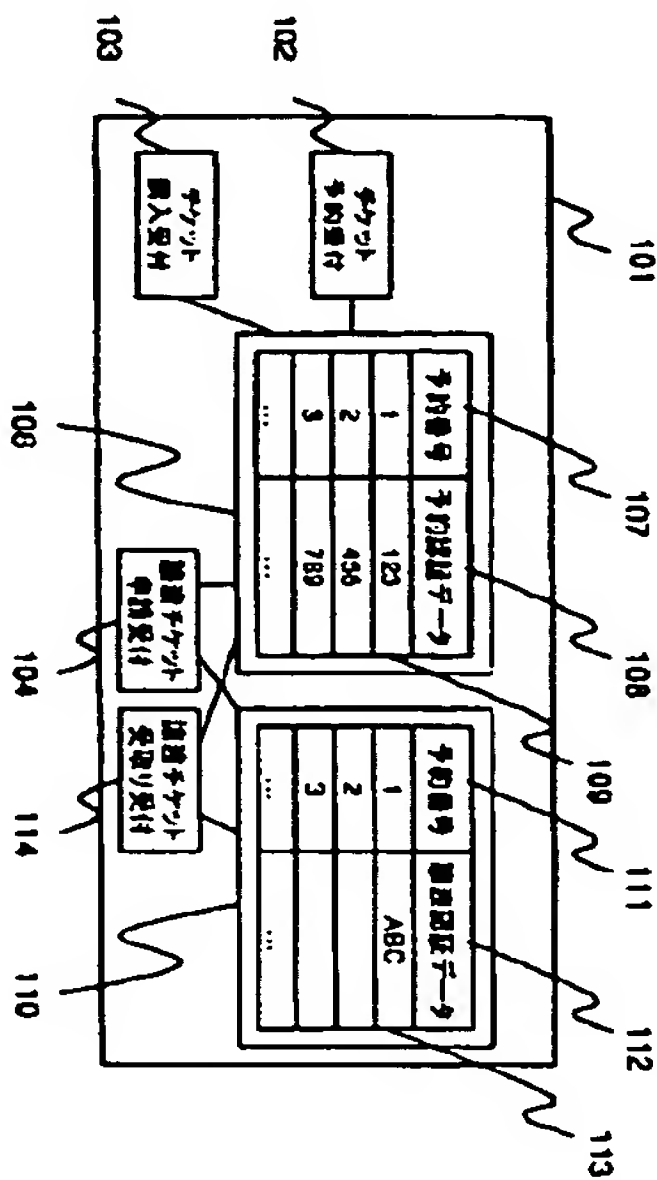
【0065】次に、本発明における図3の実施の形態に付いて説明する。

【0066】本実施の形態では、第2の実施の形態同様、消費者がコンサート会場へ入場する権利を持つこと



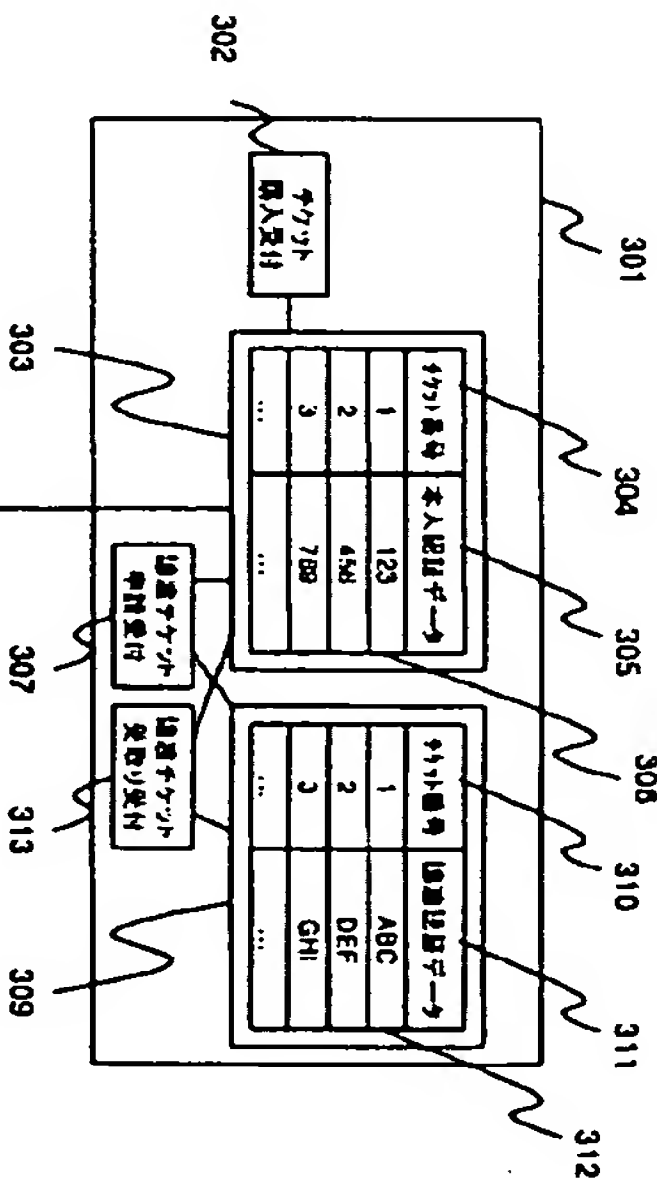
【図1】

図1



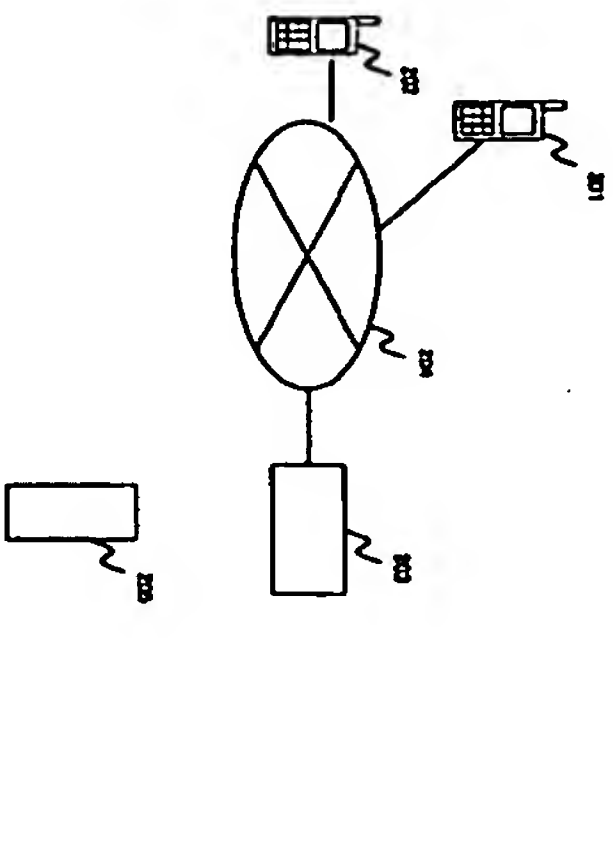
【図3】

図3



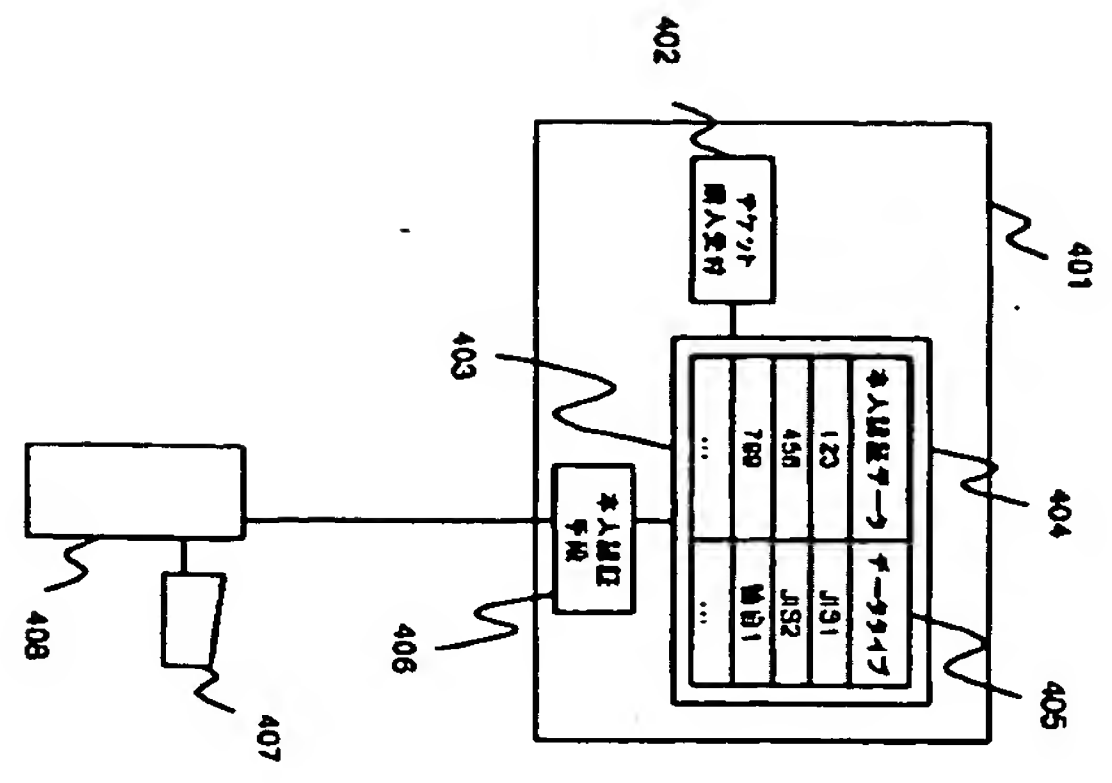
【図2】

図2



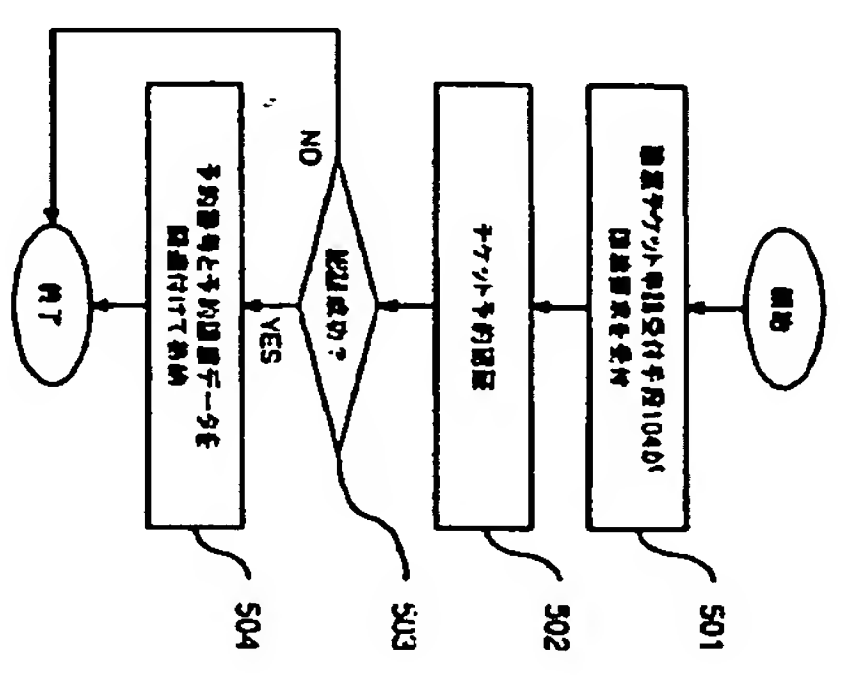
【図4】

図4



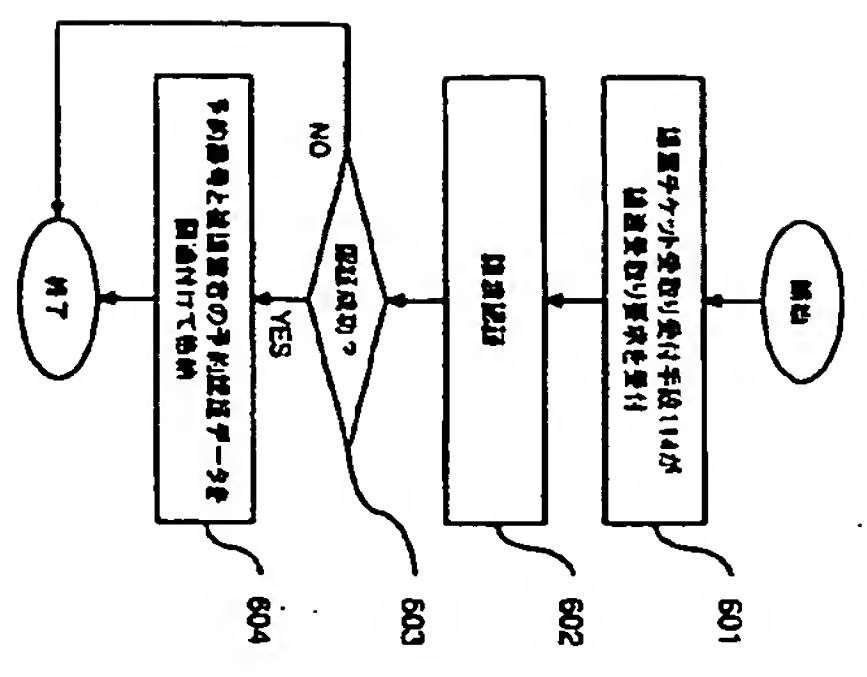
【図5】

図5



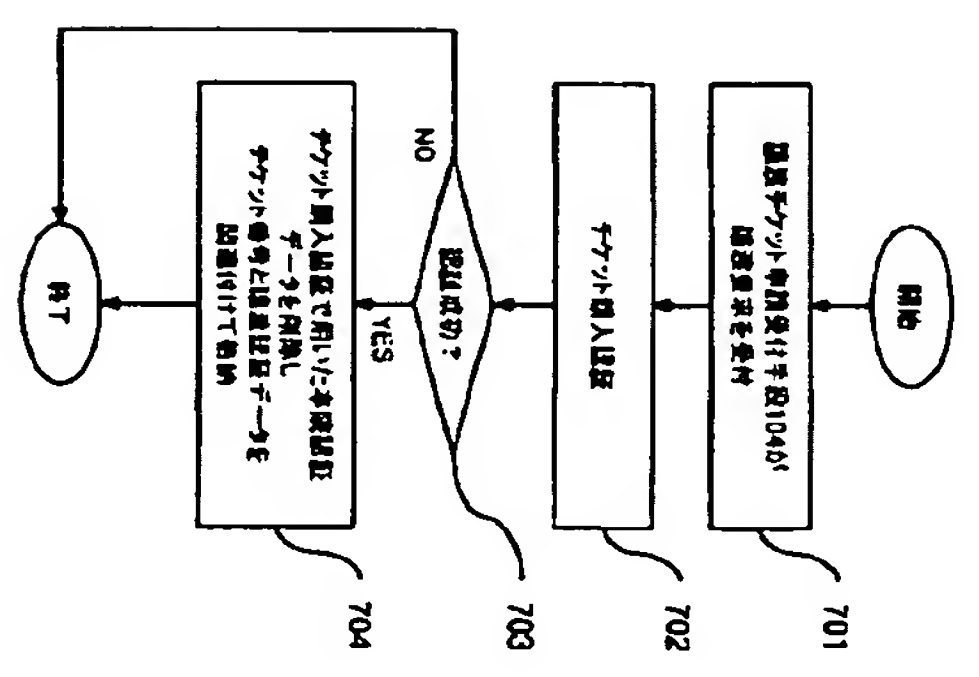
【図6】

図6



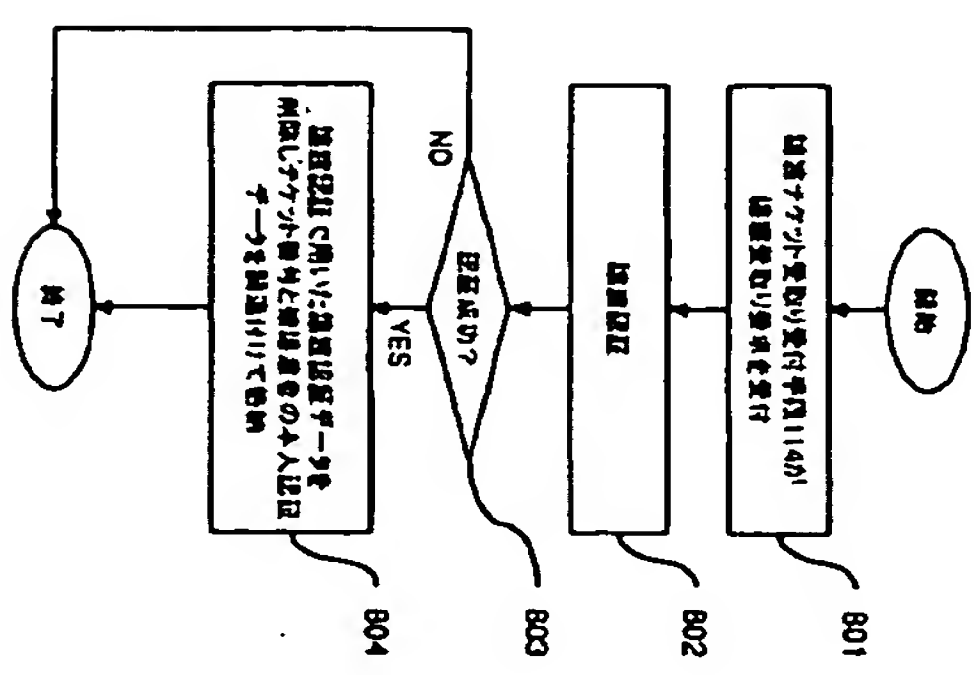
【図7】

図7



【図8】

図8



フロントページの続き

(72) 発明者 加賀 実 足  
神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株式会社日立製作所システム開発研究所内  
田代 勤  
神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株式会社日立製作所システム開発研究所内

(72) 発明者 野山 英郎  
神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株式会社日立製作所システム開発研究所内  
Fターム(参考) 5B019 AA06 BB11 CC16 DD04 DD05  
EE03 FF08 FF09 GG03 GG06